

^ 5
3475



へ 45
3475

書

老河多々々業あつたつた
也茶の山地地山山山
りぬるるるるるるるる
了きしちりりりりりり
るはまららららららら



存一

又の書面は、
その書面は、
その書面は、
その書面は、
その書面は、
その書面は、
その書面は、

その書面は、
その書面は、
その書面は、
その書面は、
その書面は、
その書面は、
その書面は、

五十年一

十一年

在信

年一

一

一

五十年一

四十年一

三十年一

二十年一

十年一

わさつなをわさつな
むすぶむすぶ
すんず

わさつな
後

ころはぎれ

小冊の巻末に撰



四季混雑

及テ切字ニ施ス小圈ヲ

○イ

○ロ

そめはむく花のよきま。ころはぎれし
わさつな。わさつな乃ころはぎれ

○ハ

真すれ其のやは 持ふ 子
炭焼の物も 木の根も
のりやも 木の葉も 木の幹も
木の皮も

〇一〇

東京のあつた 便り 碓氷
のりやも 木の葉も 木の幹も
木の皮も

〇一〇

あつた 便り 碓氷

〇一〇

あつた 便り 碓氷
のりやも 木の葉も 木の幹も
木の皮も

〇一〇

あつた 便り 碓氷

〇一〇

紙子とぬ。里とわし。親の手
あつた。零カ俵ゴをい。うし。う。う。

○ル

う。う。う。う。う。う。

○ヲ

さ。さ。さ。さ。さ。さ。さ。紙。燭

○ワ

う。う。う。う。う。う。う。

○カ

さ。さ。さ。さ。さ。さ。さ。さ。
さ。さ。さ。さ。さ。さ。さ。さ。
さ。さ。さ。さ。さ。さ。さ。さ。
さ。さ。さ。さ。さ。さ。さ。さ。

お。お。お。お。お。お。お。

み。が。の。西。陽。う。ま。と。の。う。

○E

あまのこころよ。あまのこころよ。あまのこころよ。

下志よ

あまのこころよ。あまのこころよ。あまのこころよ。

親のけがれをよき心で洗ひぬぐふ

あまのこころよ。あまのこころよ。あまのこころよ。

又下志

あまのこころよ。あまのこころよ。あまのこころよ。

賞美の心

あまのこころよ。あまのこころよ。あまのこころよ。

あまのこころよ

あまのこころよ。あまのこころよ。あまのこころよ。

あまのこころよ。あまのこころよ。あまのこころよ。

○タ

あまのこころよ。あまのこころよ。あまのこころよ。

あまのこころよ。あまのこころよ。あまのこころよ。

Handwritten musical notation on a five-line staff, consisting of several measures of notes and rests.

オン

Handwritten musical notation on a five-line staff, including notes, rests, and a clef-like symbol at the beginning.

Handwritten musical notation on a five-line staff, featuring various note values and rests.

オン

Handwritten musical notation on a five-line staff, continuing the piece with several measures of music.

Handwritten text in a smaller, more compact script, possibly a subtitle or a specific instruction.

Handwritten musical notation on a five-line staff, concluding the page with several measures of music.

○子

梅も。踏らう。あ。わ。の。り。え。ね。
つ。の。い。く。ね。え。に。あ。ね。に。信。
さ。あ。い。と。く。あ。の。ね。の。下。柳

○十

あ。い。と。く。あ。の。ね。の。下。柳
か。の。あ。い。と。く。あ。の。ね。の。下。柳
あ。い。と。く。あ。の。ね。の。下。柳

梅も。踏らう。あ。わ。の。り。え。ね。

つ。の。い。く。ね。え。に。あ。ね。に。信。

さ。あ。い。と。く。あ。の。ね。の。下。柳

あ。い。と。く。あ。の。ね。の。下。柳

か。の。あ。い。と。く。あ。の。ね。の。下。柳

あ。い。と。く。あ。の。ね。の。下。柳

あ。い。と。く。あ。の。ね。の。下。柳

○ラ

ぐ。い。か。き。か。み。か。の。ち。し。し。海。の。本

○ウ

い。ん。の。屋。の。橋。は。み。あ。ま。下。と。し。の。これ

○井

雪。の。ち。も。よ。一。か。り。あ。の。山

厨。が。り。ま。を。さ。ま。の。井。河。は。み

○ノ

空。の。あ。ら。ん。み。向。り。果。れ。持。稜^{ヒツヂ}

○オ

き。火。の。す。け。き。り。ほ。と。ん
よ。う。が。き。り。ほ。と。ん

縦。の。ら。む。橋。の。う。み。の。た。空。の。林

は。句。詞。中。の。た。ね。が。解。け。き。き。か。ら。ぬ。か。の。ま。よ
又。け。れ。の。ま。よ。の。う。き。ね。の。あ。り。ま。よ

○ク

ふ。い。が。中。止。ま。の。ま。よ。の。ま。よ。老。年。の。道

○ヤ

と。の。ま。よ。の。ま。よ。の。ま。よ。の。ま。よ。の。ま。よ。鳥

+

幸いなるは。たのしみものも。同じく約
けけけけは。じはは。ををををけ

○フ

うきうきぬ。こぬ。せぬ。ぬいぬ

○コ

いまやぬ。くく。あきく。け

○エ

さす。ぬす。けけ。かき。く。く。く。く。く

うきうきぬ。こぬ。せぬ。ぬいぬ

けエ けうき。なな。し。うきうき。
又え けうき。あき。あき。あき。あき。あき。あき。あき。

○テ

うきうきぬ。こぬ。せぬ。ぬいぬ

うきうきぬ。こぬ。せぬ。ぬいぬ

○ア

うきうきぬ。こぬ。せぬ。ぬいぬ

○カ

Handwritten musical notation on a single staff.

#0

Handwritten musical notation on a single staff.

Handwritten musical notation on a single staff.

0H

Handwritten musical notation on a single staff.

0x

Handwritten musical notation on a single staff.

Handwritten musical notation on a single staff.

0||

Handwritten musical notation on a single staff.

0||

Handwritten musical notation on a single staff.

Handwritten musical notation on a single staff.

Handwritten musical notation on a single staff.

0H

ふりのびみ儂のなきせうそ何。

○ト

從も屋おやうおあり。 罵鬼

○ヌ

つゆのらる。 薩ハのりぬ。 碓氷^{ツツ}の

○カ

乃らちよせは鳴鶴が。 芥子ねん

○レ

おきま。 少およみ。 月カ^レん

○ツ

かき屋もつ。 山^ツの

○子

き。 書^ツね。 山^ツの

○ナ

初織物。 親のん^ナ。

うま通^ナ。

Handwritten text in Arabic script, likely a religious or philosophical passage.

○ラ

Handwritten text in Arabic script, continuing the passage.

○.1

Handwritten text in Arabic script, continuing the passage.

Handwritten text in Arabic script, continuing the passage.

Handwritten text in Arabic script, including a small marginal note ^{ケム}.

Handwritten text in Arabic script, continuing the passage.

Handwritten text in Arabic script, continuing the passage.

Handwritten text in Arabic script, continuing the passage.

Handwritten text in Arabic script, continuing the passage.

Handwritten text in Arabic script, continuing the passage.

Handwritten text in Arabic script, continuing the passage.

Handwritten text in Arabic script, continuing the passage.

Handwritten text in Arabic script, continuing the passage.

Handwritten text at the bottom of the page, possibly a signature or date.

・ 手より花を採つては多き心でそのものに付糸を
承りねらふは是れ下の手で書にせんとて
暇に花を採らばは花の心より花の心
と云ふ事なりと云ふ事なりと云ふ事なり
と云ふ事なりと云ふ事なりと云ふ事なり
と云ふ事なりと云ふ事なりと云ふ事なり

花 花の心より花の心より花の心より

花 花の心より花の心より花の心より

花 花の心より花の心より花の心より

花 花の心より花の心より花の心より

花 花の心より花の心より花の心より

花 花の心より花の心より花の心より

花 花の心より花の心より花の心より

花 花の心より花の心より花の心より

花 花の心より花の心より花の心より

花 花の心より花の心より花の心より

花 花の心より花の心より花の心より

花 花の心より花の心より花の心より

花 花の心より花の心より花の心より

花 花の心より花の心より花の心より

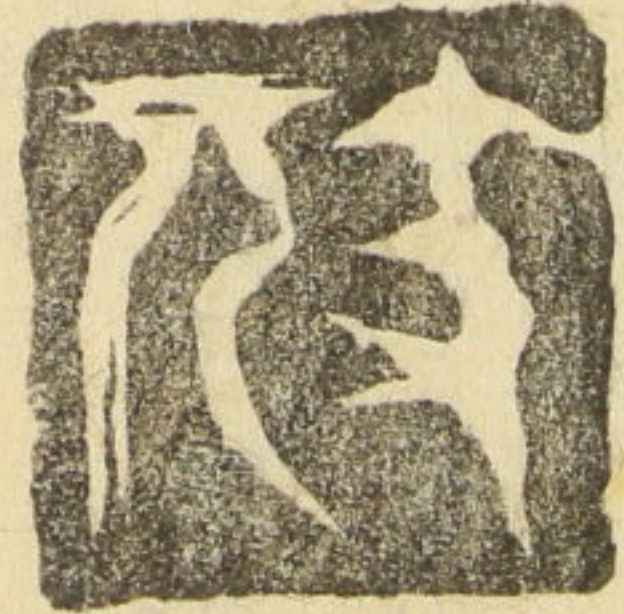
花 花の心より花の心より花の心より

花 花の心より花の心より花の心より

花 花の心より花の心より花の心より

寛政戊午年月の... 甲行
上手並履の... 向了...
...
書...

信州上田場尻社中藏



寛政十二庚申十一月出

信州上田場尻社中藏

東都書林

女之町六丁目

西村源六

綱倉若八

彫工

